動に取り組む中、組織 題に揺れた

一引締めを図った革マル派一前議長の「遺志」の

に重点を置いた活動を継続しました。衆運動を通じ、組織の維持、拡大を図ること、本でル派は、平成一八年中、労働運動や大

た。 もに、 理論の継承、 載したのを皮切りに、黒田前議長が提唱した 繰り返し掲載し、 組織委員会名の論文や同派活動家の寄稿等を する植田議長及び政治組織局連名の論文を掲 に適用していく」ことを明らかにしました。 る黒田寛一前議長が同年六月二六日に死亡 京都新宿区内で記者会見を行い、創始者であ 二八日付け)に、 「同志黒田の思想を継承し血肉化し、 (享年七八歳) したことを明らかにするとと その後、 こうした中、 植田琢磨議長が声明文を読み上げ、 同派の機関紙「解放」(同年八月 組織の強化を訴える中央労働者 同派は、同年八月一二日、 黒田前議長の追悼を内容と 組織の引締めを図りまし 実践的 東

同政治集会」を開催しました。同集会では、ハンガリー革命五○周年記念一○・一五革共一、五○○人を集めて「追悼 同志黒田寛一・立らに、同年一○月一五日、都内で、約



反戦闘争のデモに取り組む過激派(10月、愛知)

を掲載しました。 を掲載しました。 を掲載しました。 と関する批判記事を掲載しました。 を掲載しました。 を掲載しました鉄道謀略・フレームアッ 代」を広報役とした鉄道謀略・フレームアッ 代」を広報役とした鉄道謀略・フレームアッ で攻撃を断固粉砕せよ!」と題する批判記事 を掲載しました。

この別車妨害事件に関し、「アメリカ権力者との別車妨害事件に関し、「アメリカ権力者との列車妨害事件に関し、「アメリカ権力者との列車妨害事件に関し、「アメリカ権力者とのの別車が害事件に関し、「アメリカ権力者との中で、JR東日本で発生した置き石等した。

勢力との対立が継続しています。勢力と、元顧問の影響力を排除しようとするれるJR東労組内では、元顧問を絶対視する一方、革マル派が相当浸透しているとみら

の維持、拡大に向け、大衆運動の面では、反の継承を訴え、組織の引締めを図りつつ、そずマル派は、一九年も、黒田前議長の理論

戦・反安保、憲法改正問題等を中心に取り組むのとみられます。また、労働運動の面では、党派色を隠し、JRを始めとする基幹産は、党派色を隠し、JRを始めとする基幹産等の過程で、JR総連又はJR東労組と対立
する労働組合及びJR各社の関係者に対し、
住居侵入等の違法行為を伴う調査活動を行う
おそれがあります。

| 揺れた中核派| 取り組む中、組織問題に| 改憲法案阻止闘争等に

大を図っています。

・大を図っています。

者を増やす活動に力を注ぎました。及びJRの各労働組合の中に、活動家や同調反びJRの各労働組合の中に、活動家や同調憲法案の阻止を最重点課題に掲げ、同派が憲法案の阻止を最重点課題に掲げ、同派が一八年中も、「新指導路線」に基づき、改

こして、街頭署名活動や労働組合の事務所へおいて、「九条を変えるな!」をスローガン同派は、自らが主導する百万人署名運動に

取り組みました。
取り組みました。
を持た、「日の丸・君が代」問題では、
を持た。また、「日の丸・君が代」問題では、
を持た。また、「日の丸・君が代」問題では、
を持たる。また、「日の丸・君が代」問題では、

デモに取り組みました。
京)に、約二、七○○人を動員して、集会、目標を掲げて「全国労働者総決起集会」(東集会として、同年一一月五日、一万人結集の集合として、同年一一月五日、一万人結集の原派は、「新指導路線」の成果を集約する

大きく揺らいだとみられます。大きく揺らいだとみられます。

ったことを明らかにしました。問題の関係者五人に対して「除名決議」を行二二回拡大全国委員会総会」を開催し、組織こうした中、同派は、同年秋に「革共同第

ため、反戦、教育問題、憲法改正問題等を重現指導体制及び組織勢力の維持、拡大を図る中核派は、一九年も「新指導路線」の下、

件が発生するおそれがあります。離脱者の引き戻し等を図る過程で、内ゲバ事た、組織問題に関しては、責任の追及、組織取組みを一層強化するものとみられます。ま要課題に掲げ、労働運動や大衆運動に対する



「全国労働者総決起集会」開催時のデモ(11月、東京)

3

組織再建を目指した反組んだ革労協主流派と成田闘争を中心に取り

に対する取組みを強めました。路の北側延伸をとらえ、例年以上に成田闘争路の北側延伸をとらえ、例年以上に成田闘争

滑走路を北側に延伸するための工事実施計画に取り組んだほか、同年八月には、暫定平行に、対同盟」という。)が主催する集会・デモに取り組みました。会・デモに取り組みました。会・デモに取り組みました。

これまで繰り返してきた主流派との対立抗争で「党内闘争は最終結着した」などと主張し、革労協反主流派は、年初の機関紙「解放」

せました。を終わらせ、組織の再建を優先する姿勢を見

ました。反主流派は、組織の動揺を抑えるた送され、その後死亡するという事件が発生し動拠点である「赤砦社」から都内の病院に搬動が、反主流派の活に搬のとかし、同年三月、反主流派の最高幹部の

は、 一五日付け)に掲載しました。 月一五日付け)に掲載しました。 こうした中、反主流派は、 一一年の分裂以降、初めて全学 連の全国大会を開催しました。 達の全国大会を開催しました。 大会では、新しい執行部役員が 大会では、新しい執行部役員が 大会では、新しい執行部役員が 大会では、新しい執行部役員が

両派は、一九年も、反戦闘争 に取り組みながら、組織の維持、 拡大を図るものとみられます が、活動拠点で起きた事件の影 響により、反主流派の組織が不 安定な状況に置かれ、主流派が その機会を利用して反主流派に 対する内ゲバ事件を引き起こす おそれがあります。

労勢で見

一危機感が強まる成田闘ー北側延伸工事着工で

月一〇日)、公聴会の開催(同年八月二一日)という。)は、一八年中、許可申請(同年七成田国際空港株式会社(以下「空港会社」



成田国際空港暫定平行滑走路(空港南側から撮影)

始しました。 二五日に暫定平行滑走路の北側延伸工事を開を経て、同月一五日に着工式を行い、同月及び国土交通大臣の許可(同年九月一一日)

通知しました。 重知しました。 重知しました。 重知しました。 一また、反対同盟員が賃借している農地(二 が所、合計約○・九ヘクタール。以下「農地」 が所、合計約○・九ヘクタール。以下「農地」 という。)のため、暫定平行滑走路の西側誘 という。)のため、暫定平行滑走路の西側誘 という。)のため、暫定平行滑走路の西側誘 を対し、航空機の運航に支障が生じて では、同年七月一○日、農地を所有する空 では、同年七月一○日、農地と所有する空 では、同年七月一○日、農地と所有する空 では、同年七月一○日、農地と所有する空 では、同年七月一○日、農地と所有する空 では、同年七月一○日、農地と所有する空 では、同年七月一○日、農地と所有する空 では、同年七月一○日、農地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 では、同年七月一○日、豊地と所有する空 できるせいる豊地といる農地(二

このような動きに対し、中核派、革労協主流派等が支援する反対同盟は、「北延伸弾劾」を主張し、着工式当日、反対活動に取り組んを主張し、着工式当日、反対活動に取り組んされること等に対しても、反発を強めました。反対同盟及びこれを支援する過激派は、一九年も、北側延伸工事の進展、農地の賃貸借解除をめぐる動向に反発を強め、工事現場借解除をめぐる動向に反発を強め、工事現場等における抗議行動や集会・デモに取り組むものとみられます。

また、同年一〇月の全国総決起集会に伴う

ラ」事件の発生も懸念されます。 港関係者、関係施設等に対する「テロ、ゲリの可能性に言及しており、情勢次第では、空

0 過激派対策の推進

するローラー及びポスター等を活用した広報するとともに、アパート、マンション等に対警察では、過激派に対する事件捜査を徹底

活動を推進した結

ました。

このうち、同年一 月には、大阪経済 大学の構内で大学 職員に傷害を負わ せるなどした革マ ル派系の全学連活 動家ら九人を、ま た、同年三月、六 た、同年三月には、

しました。中核派系の全学連活動家ら延べ四○人を検挙申核派系の全学連活動家ら延べ四○人を検挙

た。

などした主流派の活動家六人を逮捕しましるなどした主流派の活動家六人を逮捕しまし成田闘争での取組みで警察官の職務を妨害すまた、革労協に対しては、同年五月と八月、

こととしています。得ながら、過激派に対する取締りを徹底する警察では、引き続き、国民の理解と協力を



警察庁作成の過激派対策用ポスタ*-*